

加東市東条福祉センター「とどろき荘」
令和3年度決算及び
令和4年度事業計画（案）について

令和4年6月27日

加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会

1 令和3年度事業報告及び決算について

入浴者数を維持しながら、収支バランスのとれた運営を目標にしました。

(1) 各種イベント及び主な出来事

令和3年度の各種イベント及び主な出来事については、下記のとおりです。

月 日	内 容
4月25日～ 6月20日	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により休業
6月21日～	営業再開（脱衣ロッカー利用数など一部制限）
6月24日～ 7月6日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン①
7月1日	とどろき荘運営審議会開催
7月22日～ 8月31日	こども入浴者にアイスクャンディーのプレゼント（小学生以下）
8月16日～ 9月30日	新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言により営業時間短縮（20 時閉館）
9月2日～ 11月22日	オータムキャンペーン（スタンプカードによる賞品プレゼント）
9月23日～28日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン②
10月1日～	営業時間短縮を解除（通常時間どおり）
11月22日～ 12月1日	施設修繕・メンテナンスのため休業
12月2日～7日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン③
12月18日	とどろきカフェ開催（再開）
12月9日～ 1月10日	入浴客を対象にアンケート実施
1月9日	和太鼓であったか IN とどろき 開催（約 150 名）
1月15日	とどろきカフェ開催
3月25日～30日	入浴券販売促進（毎度あり）キャンペーン④

(2) 入浴者数の状況

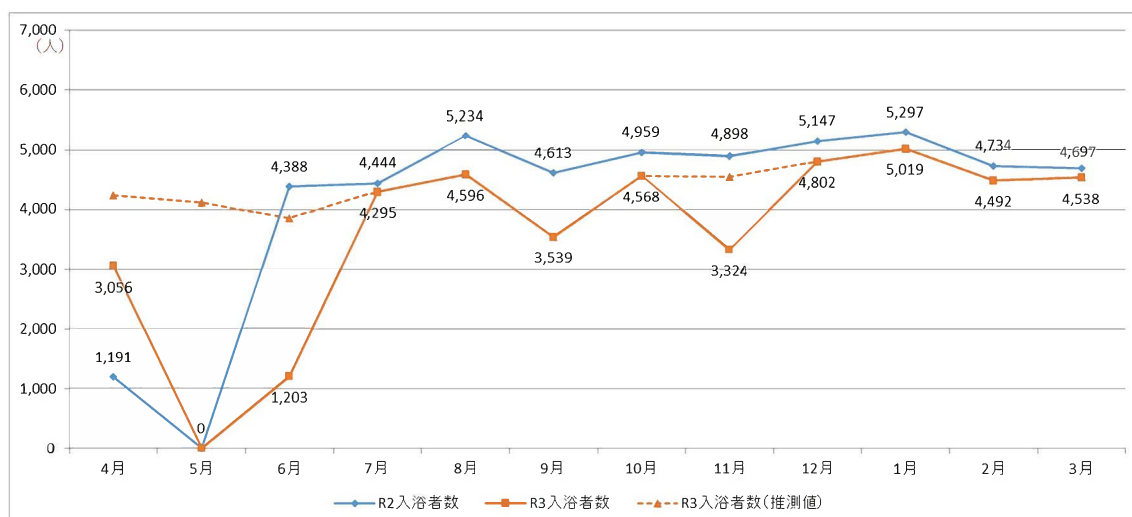
令和3年度は、下記の緊急事態宣言等の発出や修繕工事による休業により入浴者が減少しました。令和2年度と比較すると、4月から12月の入浴者数は約84%となりました。1月から3月の入浴者数は回復傾向にあり、約95%になりました。

年間の入浴者数は、令和2年度の49,602人に対し、43,432人（87.6%）となりました。緊急事態宣言及び修繕工事による休業がなかったと仮定すれば、入浴者数は53,269人（休業期間で9,837人の見込み）となりました。

(緊急事態宣言等の発出状況)

令和3年4月5日～4月24日	まん延防止等重点措置
4月25日～6月20日	緊急事態宣言
6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置
8月16日～8月19日	まん延防止等重点措置
8月20日～9月30日	緊急事態宣言
令和4年1月27日～3月21日	まん延防止等重点措置

下記に、令和2年度と令和3年度の入浴者数を比較しました。



(3) 収支状況

① 収入については、主に下記の増減要因により、予算額に対し、243千円減の49,498千円となりました。

- ・入浴料では、緊急事態宣言及び修繕工事による休業、コロナ禍による外出自粛の影響により、10,675千円の減収
- ・テナント使用料では、休業による減額により、91千円の減収
- ・その他では、土産物の売上等の利益及び国・県の支援措置11,059千円の受給により、10,523千円の増収

② 支出については、主に下記の増減要因により、予算額に対し、1,138千円減の48,412千円となりました。

- ・人件費では、緊急事態宣言及び修繕工事による休業等の影響により、746千円の減額
- ・事業費では、休業により、光熱水費の使用料及び消耗品の費用が発生しなかったため、1,604千円の減額
- ・事務費では、ポンプ類の修繕費及び消費税納税額の増額により、1,212千円の増額

令和3年度の入浴単価は 468 円/人となり、コロナ禍により入浴者数が減少したにも関わらず、入浴券販売促進キャンペーンや国・県からの支援措置により収支バランスの取れた運営になり、1,086 千円の黒字となりました。

(4) 令和3年度運営状況推移

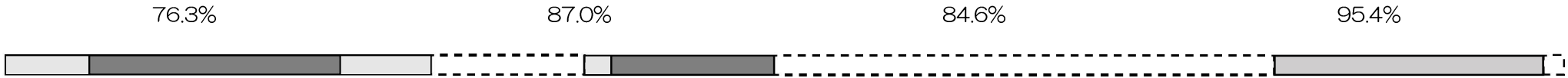
次ページの表は、令和3年度の入浴者数及び収支の推移をまとめたものです。

<令和3年度 入浴者数・収支の推移>

① 入浴者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2年度入浴者数	1,191	0	4,388	4,444	5,234	4,613	4,959	4,898	5,147	5,297	4,734	4,697	49,602
R3年度入浴者数 (推測値)	3,056 (4,211)	0 (4,677)	1,203 (3,806)	4,295	4,596	3,539	4,568	3,324 (4,726)	4,802	5,019	4,492	4,538	43,432 (53,269)
前年度比(%) (推測値)(%)	256.6% (353.6%)	－	27.4% (86.7%)	96.6%	87.8%	76.7%	92.1%	67.9% (96.5%)	93.3%	94.8%	94.9%	96.6%	87.6% (107.4%)

緊急事態宣言等の
発出状況



緊急事態宣言
まん延防止等重点措置

② 収支
(収入)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指定管理料	2,659	2,217	2,754	345	2,925	0	646	1,253	1,235	1,666	0	0	15,700
入浴料	796	0	694	1,553	1,529	2,297	1,240	1,132	4,290	1,602	1,548	3,644	20,325
テナント使用料	134	125	134	116	106	106	167	137	136	136	136	136	1,569
その他	98	29	▲ 73	1,877	7,298	237	2,086	158	113	▲ 84	16	149	11,904
計	3,975	2,409	3,616	4,213	12,248	2,987	4,554	3,074	6,248	3,688	2,124	4,498	49,498

R3予算額	実績との差額
15,700	0
31,000	▲ 10,675
1,660	▲ 91
1,381	10,523
49,741	▲ 243

※テナント使用料は、テナント使用料及び自動販売機基本設置料

※その他は、多目的ホール使用料・収益事業の利益収入及び国・県からの支援措置

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人件費	1,619	1,436	3,244	1,812	1,742	2,799	1,744	651	3,634	1,765	2,445	2,478	25,369
事業費	1,738	383	1,014	849	1,119	929	1,685	853	1,706	1,297	2,148	1,159	14,880
事務費	330	570	2,421	416	169	568	262	323	559	1,193	366	986	8,163
計	3,890	2,398	6,864	3,479	3,310	4,633	3,975	2,100	6,270	4,762	5,369	5,064	48,412

R3予算額	実績との差額
26,115	▲ 746
16,484	▲ 1,604
6,951	1,212
49,550	▲ 1,138

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(収入－支出)	85	11	▲ 3,248	734	8,938	▲ 1,646	579	974	▲ 22	▲ 1,074	▲ 3,245	▲ 566	1,086

▲ 3,152

8,026

1,531

▲ 4,885

事業の継続を支える支援措置（受給済）

(単位・円)

- (1) 雇用調整助成金（4～9月分）・・・ 3,797,726 …「その他」収入に算入
- (2) 緊急雇用安定助成金（4～6月分）・・・ 559,524 …「その他」収入に算入
- (3) 大型商業施設協力金・・・ 6,702,000 …「その他」収入に算入

計

11,059,250

※市による休業補償は、大型商業施設協力金等と重複するため、支給されていません

2 令和4年度事業計画（案）について

令和3年度は、コロナ禍による入浴者数減少と、電気料金の高騰による維持管理費の増加が重なり、国・県による支援措置がなければ収支バランスがとれず、運営が難しい状況でした。

令和4年度は、下記の収支改善の取組を行うことによって、経費削減を図ります。また、入浴券販売促進キャンペーン及びシーズンキャンペーンを見直すことで入浴者の増加や入浴単価の改善を図り、収支バランスのとれた運営を目標とします。

（1）令和3年度の課題

- ・コロナ禍の影響による入浴者数の減少が長期化する中、現状の特典や割引サービスを維持・継続したことにより、入浴単価が低下した。
- ・入浴券販売促進キャンペーン後の売り上げ減少幅が大きかった。
- ・シーズンキャンペーンがマンネリ化している。

（2）収支改善のための取り組み・改善策

①入浴券販売促進キャンペーン（毎度ありキャンペーン）の見直し

当キャンペーンは、5日間前後をキャンペーン期間とし、年4回（6月・9月・12月・3月）実施し、内容は大人回数券（6,000円で11枚綴）に、入浴招待券を付与しています。これまでは、付与する招待券の枚数は、1冊購入につき1枚（6月・9月・3月）、又は2枚（12月）としていましたが、枚数を減らすことで入浴単価の改善を図り、年間約438千円の増収を見込みます。

〈現状〉

〈変更後〉

（9・3月）

回数券1冊につき招待券1枚 ⇒ 回数券2冊につき招待券1枚

（12月）

回数券1冊につき招待券2枚 ⇒ 回数券1冊につき招待券1枚

※6月は通常どおりとし、9月から変更します。

②シーズンキャンペーンの見直し

今年度、とどろき荘は昭和47年5月のオープンから50周年となります。これまでの感謝や利用者の増加を図るため、シーズンキャンペーンの代替イベントとして、東条地域まちづくり協議会が開催する「ミニ文化祭」（11月19日（土）・20日（日）開催予定）に協賛し、「50周年感謝イベント」を実施します。

イベント内容は、マグロの解体ショーのほか、50年間の歩みを写真展示します。また、入浴者限定のプレゼント企画を開催し、ミニ文化祭の来場者を入浴につなげ

ます。

③電気料金の急激な高騰について

年度当初から、電気料金が急激に高騰しています。電気の使用状況をさらに分析し、割引のある夜間電力を多く使用することによって、電気使用料を削減します。また、デマンド装置を有効活用し、エアコンや機械の稼働時間、貯湯槽の昇温タイミングを分析し、集中した使用を防ぐことにより最大電力を抑え、基本料金を削減します。

令和4年度の入浴者数・収支は次ページのとおり、電気料金の高騰により、2,011千円の赤字が見込まれます。

この影響分については、「加東市東条福祉センターとどろき荘の管理運営に関する協定（基本協定）」の第10条第2項に基づき、市と社会福祉協議会で協議し、対応を検討します。

<令和4年度 入浴者数・収支の見込>

① 入浴者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R3年度入浴者数	3,056	0	1,203	4,295	4,596	3,539	4,568	3,324	4,802	5,019	4,492	4,538	43,432
R4年度入浴者数	4,426	4,615	3,803	4,725	5,377	3,893	5,482	3,989	5,762	6,023	5,390	5,446	58,931
前年度比（％）	144.8%	—	316.1%	110.0%	117.0%	110.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	120.0%	135.7%
	301.6%			112.6%			120.0%			120.0%			

② 収支
(収入)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指定管理料	2,770	1,271	3,565	1,310	1,544	1,400	1,479	52	808	1,500	1	0	15,700
入浴料	1,233	1,475	2,763	1,434	2,036	2,527	1,887	1,459	4,719	2,087	2,102	4,008	27,730
多目的ホール使用料	31	275	62	62	62	62	62	62	62	62	62	36	900
その他	119	250	270	270	270	270	270	270	255	254	251	251	3,000
計	4,153	3,271	6,660	3,076	3,912	4,259	3,698	1,843	5,844	3,903	2,416	4,295	47,330

※その他は、テナント使用料及び自動販売機基本設置料、土産物売上利益等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人件費	1,725	1,759	3,398	1,942	1,759	2,934	1,760	738	3,642	1,760	2,384	2,296	26,097
事業費	2,049	733	1,645	876	1,853	898	1,764	803	1,782	1,005	2,082	1,010	16,500
事務費	379	779	1,617	258	300	427	174	302	420	1,138	238	712	6,744
計	4,153	3,271	6,660	3,076	3,912	4,259	3,698	1,843	5,844	3,903	4,704	4,018	49,341

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(収入－支出)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 2,288	277	▲ 2,011
	0			0			0			▲ 2,011			